

2015年度近代ボバース概念小児領域8週間講習会

ボバース概念は、脳性まひ児の全人的問題解決アプローチとして、1958年からボバース夫妻により創始され、世界各国の小児リハビリテーション界に多大なる影響を与えました。

我が国では1970年から、梶浦一郎（医師）と紀伊克昌（理学療法士）により、先駆的に大阪の地に導入され、45年にわたる臨床実践を積み重ね、日本全国の障害児療育に寄与してきました。

本講習会は、ロンドン・ボバースセンターの内容を踏襲しつつ、地域生活を総合的に支援する当法人の理念と実績のもと、すべての障害児療育のニーズに応えるための独創的な臨床実践トレーニング「近代ボバース概念講習会」として、原点に立ち返り、ここ発祥の地で開催することになりました。

講習会修了者には、“International Certification of Bobath Concept Therapist”が授与されます。

日時：平成27年9月28日（月）～11月20日（金）

内容：ロンドン・ボバースセンターで開催されている8週間基礎講習会に準ずる。

講義一 ボバース概念の歴史、小児神経学、小児中枢神経疾患病因論、個体発生学、正常発達知識と臨床応用、学習障害児・脳性まひ児・重度脳損傷児の各論、感覚・知覚・認知の正常発達と障害分析、コミュニケーション、摂食機能、その他PT・OT・STの各論

実技一 姿勢制御、運動制御、正常分析と問題点整理、促通手技、運動効果器の生理的調整、感覚統合調整、その他

デモンストレーション一 PT・OT・ST各インストラクター／講師による患者治療 実証

治療実習一 実際の患者治療を指導する

会場：社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター

〒546-0035 大阪府大阪市東住吉区山坂 5丁目 - 11 - 21

講師：鈴木恒彦（大阪発達総合療育センター センター長）、他 医師数名

紀伊克昌、他PTボバースインストラクター数名、

他 OT、ST インストラクター

受講費：324,000円（消費税込、宿泊費・食費は含みません）

定員：20名（申し込み多数の場合は選考の上、決定いたします）

対象者：小児経験年数3年以上の 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師

申込方法：受講お申込みは以下のいずれかの方法でお願いいたします。

<インターネットで申込書をダウンロード、印刷する場合>

大阪発達総合療育センター ホームページ（<http://osaka-drc.jp/>）の研究会・講習会 開催のお知らせ内

“脳性麻痺児へのボバースアプローチ8週間認定講習会”もしくは、

日本ボバース研究会のホームページ内（<http://homepage2.nifty.com/bobath/>）の講習会案内

“脳性麻痺8週間基礎講習会”より申込用紙.pdf をダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局宛に郵送してください。

<インターネットで申込書がダウンロード、印刷できない場合>

返信用封筒（82円切手貼付）およびCP基礎コース希望と書いたメモを同封の上、

下記、事務局宛に受講申込用紙をご請求願います。

申込書をお送りいたしますので、届いた用紙に必要事項をご記入の上、事務局宛に郵送してください。

※E-mail での添付、FAX による申込は受付けておりませんのでご了承ください。

【申込用紙請求&送付先 事務局】

〒546-0035 大阪府大阪市東住吉区山坂 5丁目 - 11 - 21

大阪発達総合療育センター リハビリテーション部 黒澤 宛

TEL：06-6699-8739 FAX：06-6699-8134

申込締切：平成27年7月22日 必着

主催：社会福祉法人 愛徳福祉会

共催：アジア小児ボバース講習会講師会議（ABPIA）

後援：（社）日本作業療法士協会